

日本金属学会オンライン教育講座 開催案内

「めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ」

[講義概要]

代表的な金属膜作製法であるめっきは防錆、装飾から半導体微細配線やナノ・マイクロ材料製造までその用途を広げながら発展を続けています。本講座では、めっきの基礎に続いて膜質の制御に欠かせない添加剤の役割について解説し、近年の新たな展開としてナノ結晶合金作製と濃厚電解質溶液の利用、めっき膜中水素の挙動について紹介します。

[プログラム]

2025年10月8日（水）

13:30 - 15:00 めっきの基礎（講師：平藤哲司先生）

15:00 - 15:15 休憩

15:15 - 16:45 めっきにおける各種添加剤の役割（講師：赤星晴夫先生）

2025年10月9日（木）

13:30 - 14:30 めっき法によるナノ結晶合金の作製（講師：瀧川順庸先生）

14:30 - 14:40 休憩

14:40 - 15:40 濃厚電解質溶液を利用しためっき（講師：邑瀬邦明先生）

15:40 - 15:50 休憩

15:50 - 16:50 めっき膜中の水素の挙動解析（講師：福室直樹先生）

[受講方法]

オンライン（Zoom）

[講師]

京都大学名誉教授 平藤 哲司 先生

1981年3月 京都大学工学部金属系学科卒業； 1983年3月 京都大学大学院工学研究科金属加工学専攻 修士課程修了； 1987年5月 京都大学大学院工学研究科冶金学専攻 博士後期課程修了； 1987年6月～ トロント大学 博士研究員； 1988年6月～ 京都大学工学部助手； 1994年8月～ 京都大学工学部助教授； 1996年4月～ 京都大学大学院工学研究科助教授； 2006年4月～ 東北大学多元物質科学研究所教授； 2007年8月～ 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授； 2024年4月～ 京都大学名誉教授、現在に至る。

関東学院大学客員教授 赤星 晴夫 先生

1981年3月 東北大学大学院応用化学専攻 博士後期課程修了； 1981年4月～2015年10月 株式会社日立製作所日立研究所； 2011年11月～2012年9月 東北大学学際化学国際高等研究センター客員教授； 2018年4月～2021年3月 長岡技術科学大学技術研究院特任教授； 2019年4月～2023年3月 関東学院大学工学研究科客員教授； 2021年4月～2022年3月 長岡技術科学大学技術開発センター客員教授； 2022年6月～2023年3月 長岡技術科学大学 物質材料工学専攻科特任教授； 2024年4月～ 関東学院大学工学研究科客員教授、現在に至る。

大阪公立大学教授 瀧川 順庸 先生

1993年3月 東京大学工学部材料学科卒業； 1998年3月 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了 博士（工学）； 1998年4月～ 財団法人ファインセラミックスセンター； 2004年

4月～大阪府立大学大学院工学研究科助教授； 2007年4月～ 同准教授 2018年4月～ 同教授； 2022年4月～ 大阪公立大学大学院工学研究科教授、現在に至る。

京都大学教授 邑瀬 邦明 先生

1991年3月 大阪大学工学部応用化学科 卒業； 1993年3月 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士前期課程修了； 1996年3月 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士後期課程修了； 1993年4月～1996年6月 日本学術振興会特別研究員 DC1, PD； 1996年7月～ 京都大学大学院工学研究科助手； 2004年11月～ 京都大学大学院工学研究科助教授； 2012年1月～ 京都大学大学院工学研究科教授、現在に至る。

兵庫県立大学准教授 福室 直樹 先生

1994年3月 東京都立大学工学部工業化学科 卒業； 1996年3月 東京都立大学大学院工学研究科応用化学専攻 修士課程修了； 1999年3月 東京都立大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士課程修了； 1999年4月～2002年3月 NTT アドバンステクノロジー株式会社； 2002年4月～ 姫路工業大学工学部助手； 2004年4月～ 兵庫県立大学大学院工学研究科助手； 2016年4月～ 兵庫県立大学大学院工学研究科准教授、現在に至る。

[コーディネーター]

兵庫県立大学准教授 福室 直樹、大阪公立大学教授 瀧川 順庸

[申込方法]

<https://www.jim.or.jp/seminarsymposium/> よりお申込みください。

[申込締切]

2025年9月30日（火）

[受講料]

対象者	受講料	2講座目以降の受講料※
正員	20,000	15,000
学生	8,000	6,000
非会員	40,000	30,000

※本年度開催のオンライン教育講座を2講座以上受講する場合、2講座目からは割引料金となります。

※本会の維持員社員は正員と同額の受講料です。さらに、維持員が同一講座に3名以上の申込みをすると受講料がさらに25%オフとなります（申込前にご相談ください）。ただし、複数受講との重複割引はありません。

※本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。

※学生は会員、非会員の区別なし

[受講料支払方法]

①カード決済 ②コンビニ決済 ③銀行振込

[問合せ先]

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

(公社) 日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

E-mail : meeting@jimm.jp TEL 022-223-3685 FAX022-223-6312

[協賛予定]

エネルギー資源学会、応用物理学会、金属系材料研究開発センター、軽金属学会、軽金属製品協会、合金状態図研究会、資源・素材学会、ステンレス協会、素形材センター、電気化学会、電気学会、日本アルミニウム協会、日本 MRS、日本化学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本磁気学会、日本セラミックス協会、日本塑性加工学会、日本チタン協会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会、日本分析化学会、粉体粉末冶金協会、腐食防食学会、表面技術協会、日本チタン学会、日本バイオマテリアル学会